

取扱説明書

昇華型再転写プリンタ CX-330

ステータスモニタ



動作環境

ソフトウェアは以下の環境で動作します。

Microsoft® Windows® 7 32bit/64bit 日本語版

Microsoft® Windows Vista™ 32bit 日本語版

Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2) 32bit 日本語版

Microsoft® Windows® 2000 Professional (Service Pack 4) 32bit 日本語版

ソフトウェアの使用許諾について

ソフトウェアのご使用にはソフトウェア使用許諾契約書への同意が必要です。ご使用前に、別冊「CX-330 取扱説明書」の巻末にある“ソフトウェア使用許諾契約書”を必ずお読みください。

2010 年 6 月 第 3 版

目次

ご使用の前に	3
ステータスマニタとは	3
画面の構成	5
プリンタの状態監視	6
プリンタ状態の表示	6
状態表示メッセージ一覧	7
メディア状態の表示	8
プリンタ選択	8
プリンタの設定変更	9
再転写条件の変更	11
反り矯正条件の変更	13
メディアの状態確認	15
インクリボンが認識できない場合の表示と対処のしかた	17
プリンタの構成確認	18
プリンタの選択	19
ネットワーク設定	20
セキュリティの設定	21
テスト印刷	23
その他の機能	24
トラブルシューティング	25
エラーコード一覧と対処のしかた	25
ステータスマニタのエラー	29

本書についてのご注意

- (1) 本書の内容を無断で転載して使用することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容またはプリンタの仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- (3) 本書で使用しているイラストと本体の形状が若干異なる場合があります。
- (4) MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版、Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows® 7、Windows Vista™、Windows® XP、Windows® 2000 と表記しています。
- (5) Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- (6) This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

ご使用前に

ステータスマニタとは

ステータスマニタはプリンタの状態を表示したり、プリンタの各種設定を行うソフトウェアです。

注意

ステータスマニタはプリンタの電源を入れた状態でご使用いただくようお願い致します。

動作環境

ステータスマニタは以下の環境で動作します。

■ OS

- Microsoft® Windows® 7 32bit/64bit日本語版
- Microsoft® Windows Vista™ 32bit日本語版
- Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2) 32bit日本語版
- Microsoft® Windows® 2000 Professional (Service Pack 4) 32bit日本語版

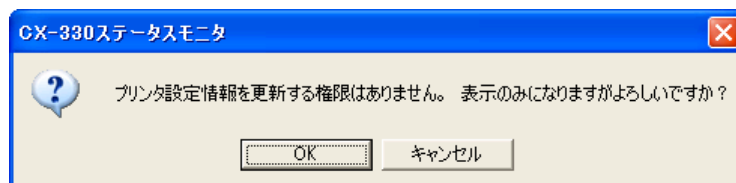
■ 他のソフトウェア

ホストコンピュータにはプリンタドライバがインストールされている必要があります。プリンタドライバは、プリンタに同梱の CD-ROM からインストールすることができます。

■ ユーザ権限

管理者権限のあるユーザ (Administrators グループ) で実行した場合は、ステータスマニタからプリンタの設定が可能です。

管理者権限のないユーザで実行した場合は、下の画面が表示されます。[OK]を押すと実行できますが、ステータスマニタからプリンタの設定はできずに表示のみとなります。



ご使用の前に (つづき)

実行方法

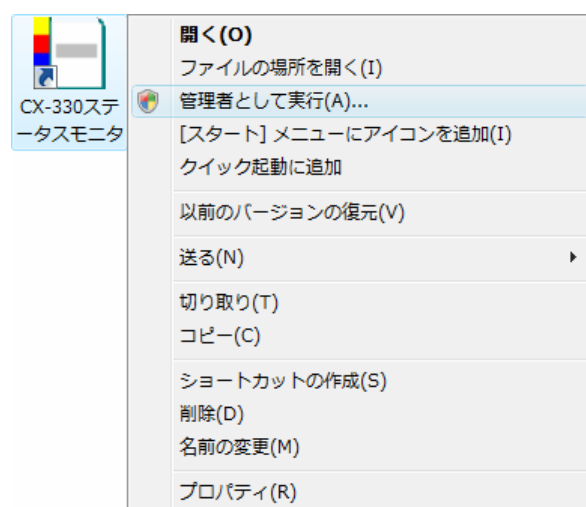
ステータスモニタは、以下の方法で実行できます。

- ① デスクトップのショートカット(インストール時に設定した場合)から実行。
- ② スタートメニュー(インストール時に設定した場合)から実行。
- ③ インストールしたフォルダから直接に実行。

Windows[®] 7 とWindows Vista[™]では、「管理者として実行...」を選択すると、管理者権限のあるユーザとして実行できます。ダブルクリックや「開く」を選択すると、管理者権限のないユーザとして実行されます。

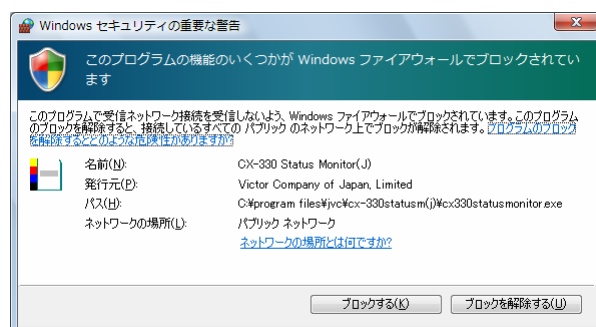
メモ

Windows[®] 7 とWindows Vista[™]では、管理者権限のあるユーザでログオンした場合でも、実行時に管理者権限がないユーザとして扱われることがあります。

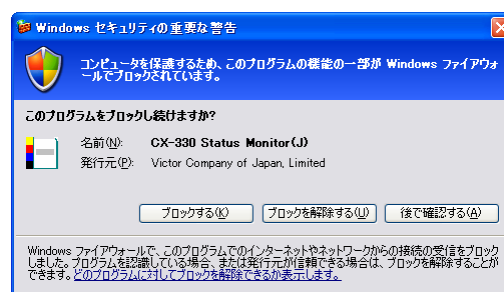


注意

Windows[®] 7, Windows Vista[™]およびWindows[®] XP (Service Pack 2)では、ステータスモニタを最初に起動する時、Windows[®]が以下のダイアログを表示することがあります。“ブロックを解除する”を設定すると、以降は表示されません。“ブロックする”を設定すると、ステータスモニタは正常に動作しません。



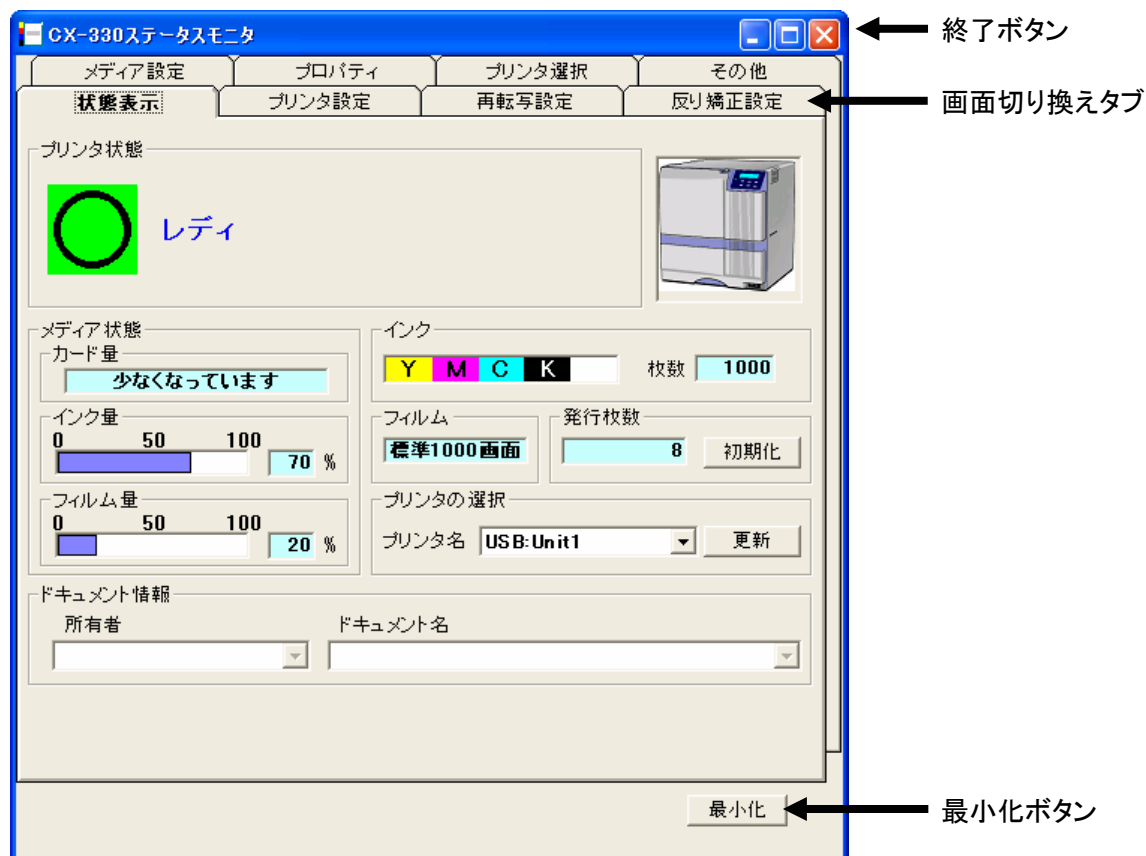
Windows[®] 7 とWindows Vista[™]の場合



Windows[®] XP (Service Pack 2)の場合

ご使用の前に (つづき)

画面の構成



■ 終了ボタン: ステータスマニタを終了します。

■ 画面切り替えタブ: 以下の画面に切り替えます。

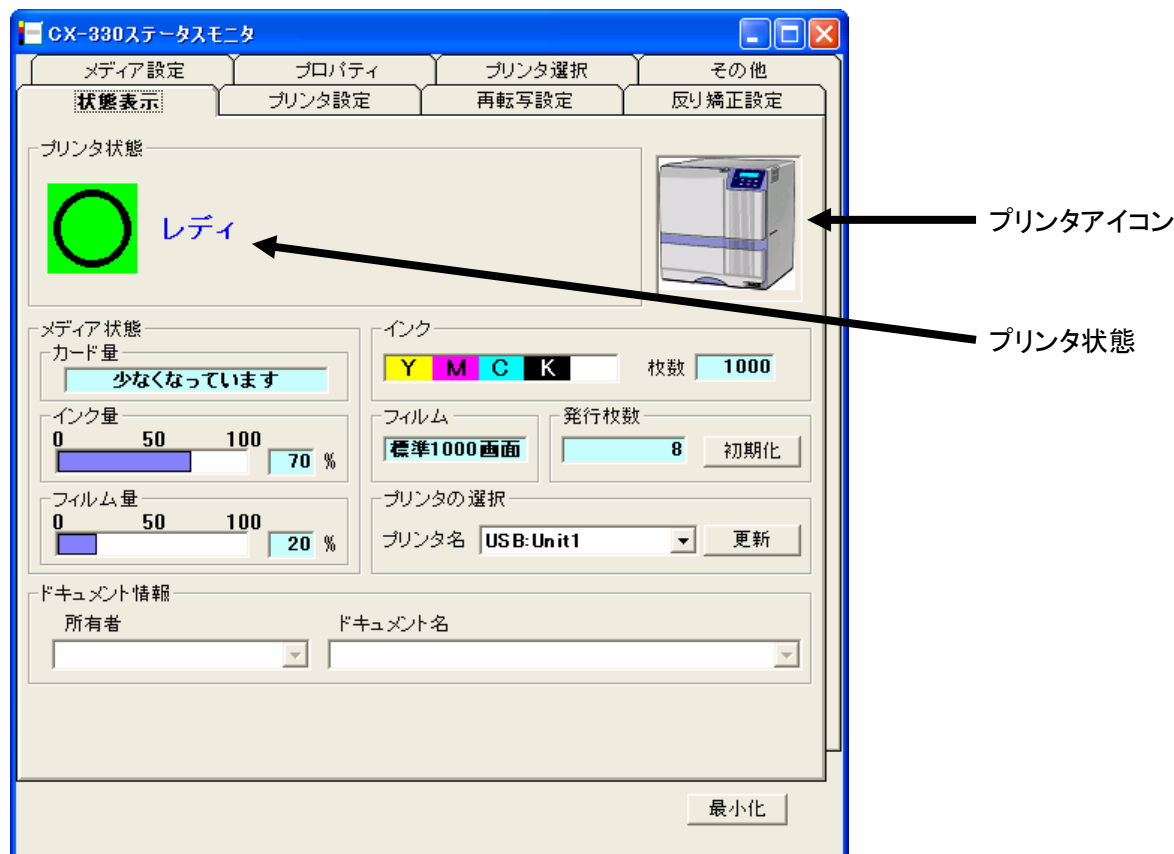
- 状態表示: プリンタの状態を表示します。
- プリンタ設定: プリンタの印刷設定などを表示し、設定します。
- 再転写設定: カードに再転写するときの条件を表示し、設定します。
- 反り矯正設定: カード反りを矯正するときの条件を表示し、設定します。
- メディア設定: インクリボンの状態表示と、カードや再転写フィルムを設定します。
- プロパティ: 機器構成やプリンタのファームウェアのバージョンを確認します。
- プリンタ選択: プリンタの選択とネットワークの設定をします。
- その他: プリンタのテスト印刷やその他設定を行います。

■ 最小化ボタン: ステータスマニタをアイコンにします。アイコンはタスクバーに表示します。

プリンタの状態監視

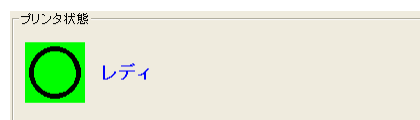
〔 状態表示 〕 タブシート

状態表示の画面で、プリンタの状態を表示します。画面は、一定の間隔で表示内容を更新しています。

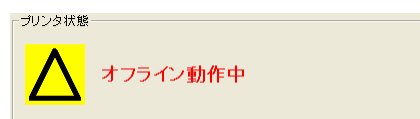


プリンタ状態の表示

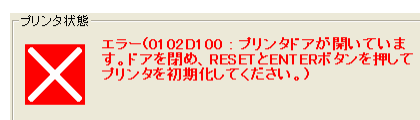
■ プリンタ状態： プリンタの状態を表示します。アイコンで3つの状態を表します。



レディ状態です。印刷を開始できます。



動作中です。詳細については、次ページの「状態表示メッセージ一覧」を参照ください。



障害が発生しています。エラーコードと障害内容を表示します。左の例では“0102D100”がエラーコードです。詳細については、「エラーコード一覧と対処のしかた」(本書 25 ページ以降)を参照してください。

プリンタの状態監視 (つづき)

- プリンタアイコン： 常は下左図のアイコン表示ですが、カード搬送ローラーを清掃してから 1000 枚以上のカードを印刷すると、下右図のアイコン表示に変わります。このアイコン表示が現れたら、別冊「CX-330 取扱説明書」の“カード搬送ローラー、ヒートローラーの清掃”を実施してください。



【通常時】



【ローラーの清掃が必要な時】

状態表示メッセージ一覧

項番	表示メッセージ	説明
1	プリンタが接続されていません。	プリンタの電源が入っていないか、ホストコンピュータとプリンタが正しく接続されていません。
2	レディ	プリンタはレディ状態です。カード印刷を開始できます。
3	初期化中	プリンタは初期化中です。初期化を終了するとレディ状態になります。
4	オフライン動作中	プリンタは設定モード中、あるいはローラークリーニング中です。終了するとレディ状態になります。
5	プリヒート中	プリンタはヒートローラーをプリヒート中です。十分な温度になるとレディ状態になります。
6	カードローディング中	プリンタはカードを発行中です。カード発行中の動作状態を示します。カード発行を終了するとレディ状態に戻ります。
7	カード搬送中	
8	磁気エンコーディング中	
9	再転写中	
10	接触 IC エンコーディング中	
11	非接触 IC エンコーディング中	
12	印刷中	
13	パワーセーブ中	プリンタは電源消費を抑えるパワーセーブ中です。パワーセーブを終了するには、RESET ボタンを押した後に ENTER ボタンを押し、プリンタを初期化してください。

プリンタの状態監視 (つづき)

メディア状態の表示

■ メディア状態: メディアの残量を表示します。

- カード量: カードの残量は、下表に示す3段階で表示します。これらの表示はカード厚や反りなどにより変動する場合があります。

カード量の表示内容	0.76mm 厚のカード	0.25mm 厚のカード
充分です	約 25 枚以上	約 70 枚以上
少なくなっています	約 25 枚未満	約 70 枚未満
ありません	0 枚	0 枚

- インク量: インクリボンの残量を 50 段階でパーセント表示します。
- フィルム量: 再転写フィルムの残量を 10 段階でパーセント表示します。

注意

残量はおおよその目安です。ご使用の方法やメディアの種類などで誤差が発生します。

■ インク: 装着されているインクリボンの情報を表示します。インクリボンを正しく認識できない場合、枚数は空白となります。この場合、インクリボンが正しく制御できない場合があります。別冊「CX-330 取扱説明書」の“インクリボンのセット”を参照し、取り付け状態を確認してください。

■ フィルム: 装着されている再転写フィルムの種類を表示します。

■ 発行枚数: 発行したカード枚数を表示します。“初期化”ボタンを押すと、発行枚数を0に設定します。

プリンタ選択

■ プリンタ選択: 複数のプリンタを同一のホストコンピュータに接続している場合、対象のプリンタを切り替えることができます。

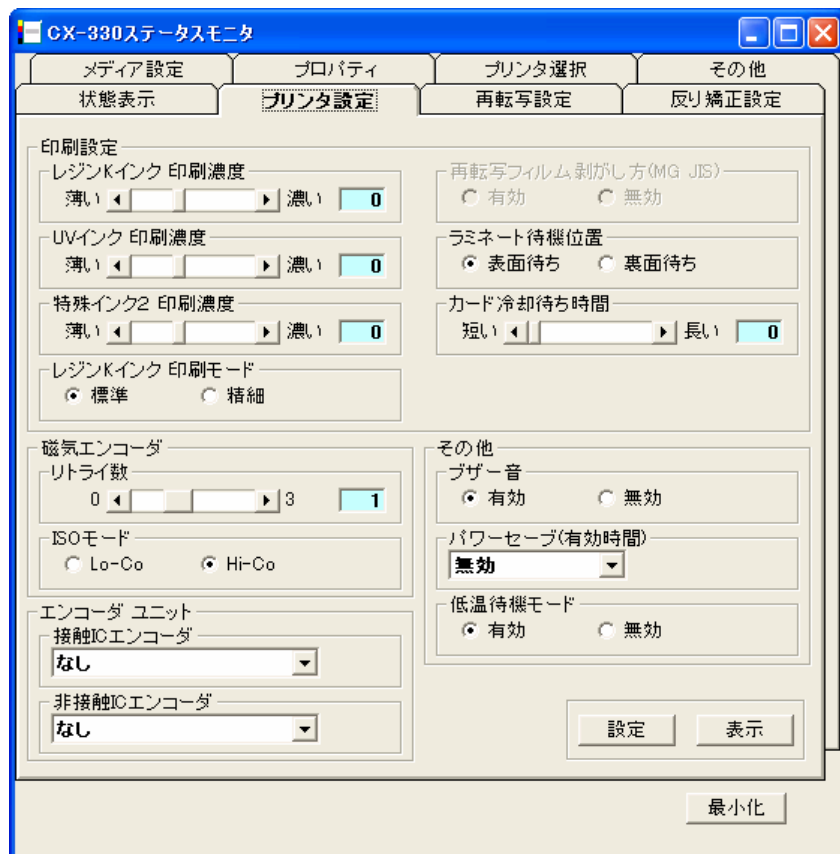
- “更新”ボタンを押すと、接続中のプリンタを検索し、リストボックス中のプリンタが更新されます。
- リストボックス中のプリンタを選択すると、選択したプリンタの状態に表示が切り替わります。

■ ドキュメント情報: ネットワークで印刷接続している場合、その所有者とドキュメント名を表示します。

プリンタの設定変更

〔 プリンタ設定 〕 タブシート

プリンタ設定の画面で、プリンタの印刷設定などを設定します。



操作

- 設定ボタン: スライダーやラジオボタンなどで変更した内容を、プリンタに設定します。
- 表示ボタン: プリンタの設定状態を画面に表示します。

プリンタの設定変更 (つづき)

設定方法

設定を変更する場合は、変更前の値をメモしてからお使いください。

■ 印刷設定

- レジンKインク印刷濃度：レジンKインクの印刷濃度を設定します。
- UVインク印刷濃度： UVインクの印刷濃度を設定します。(オプション)
- 特殊インク2 印刷濃度： 特殊インク2の印刷濃度を設定します。(オプション)
- レジンKインク印刷モード： レジンKインクの印刷品質を設定します。“精細”を選択すると、印刷品質は向上しますが、印刷速度は低下します。
- 再転写フィルム剥がし方(MG JIS)： JIS MG ユニットが実装されている場合、JIS 磁気ストライプ付きカード用の再転写フィルムの剥がし方を設定します。標準は“無効”です。
- ラミネート待機位置： ラミネータが接続されている場合、両面印刷でラミネータが Ready になるのを待つカード待機位置を設定します。標準は“表面待ち”です。
- カード冷却待ち時間： 再転写後、再転写フィルムをカードから剥がすまでの待ち時間を秒単位で設定します。標準値は 0 です。

■ 磁気エンコーダ

- リトライ数： 磁気ストライプの書き込み/読取りに失敗した場合の、最大リトライ数を設定します。標準値は 1 です。
- ISO モード： ISO 磁気ストライプに対する、抗磁力を設定します。標準値は“Hi-Co”です。

■ エンコーダ ユニット

- 接触エンコーダ： 接触式 IC エンコーダのコンタクト位置を設定します。標準値は“なし”です。
- 非接触エンコーダ： 非接触式 IC エンコーダのアンテナ位置を設定します。標準値は“なし”です。

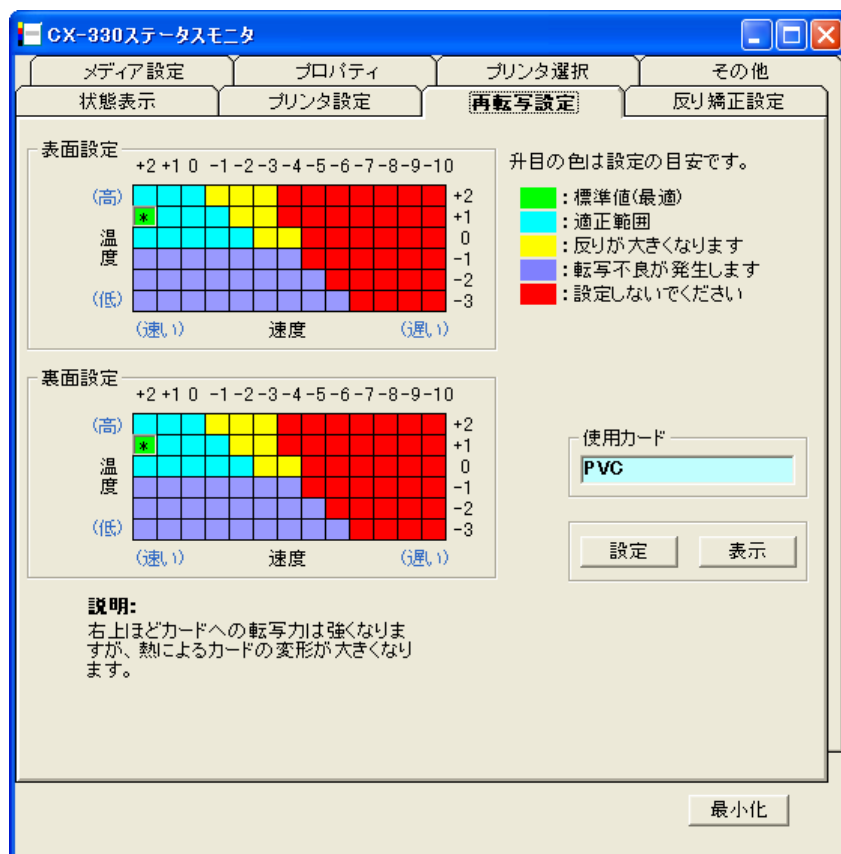
■ その他

- ブザー音： エラー発生やカード量が少なくなった場合の警告音、ユーザモードで ENTER ボタンを押した場合の確認音の有効/無効を設定します。無効にした場合、音はなりません。標準は“有効”です。
- パワーセーブ(有効時間)： 一定時間印刷や操作をしなかった場合、電源消費量を減らすパワーセーブモードが働きます。パワーセーブモードを無効にするか、あるいはパワーセーブモードが働くまでの時間を設定します。無効にした場合、パワーセーブモードは働きません。標準は“無効”です。
- 低温待機モード： 約 30 分以上印刷しない時、再転写側ヒートローラーの温度を下げて待機します。標準は“有効”です。

再転写条件の変更

〔 再転写設定 〕 タブシート

再転写設定の画面で、カードに再転写するときの条件を設定します。



操作






- 設定ボタン: 選択した値をプリンタに設定します。
- 表示ボタン: プリンタの設定状態を画面に表示します。
- 使用カード: 設定の適正值はご使用のカード種により変化します。カード種は「メディア設定の画面」で変更できます。(本書 15 ページ参照)

再転写条件の変更 (つづき)

設定方法

設定部では縦軸に再転写温度、横軸に再転写速度を表示しています。設定したい矩形(升目)をクリックして値を変更します。選択した値には“*”が表示されます。

右上ほどカードへの転写力は強くなりますが、熱によるカードの変形が大きくなります。下表のような色分けで設定の目安を表示しています。

色	説明
 緑色	標準値です。選択したカードの最適値です。通常はここを選んでください。
 水色	適正範囲です。標準値以外を選ぶ場合の推奨範囲です。
 黄色	反りが大きくなります。
 青色	再転写負不良が発生します。
 赤色	設定しないでください。

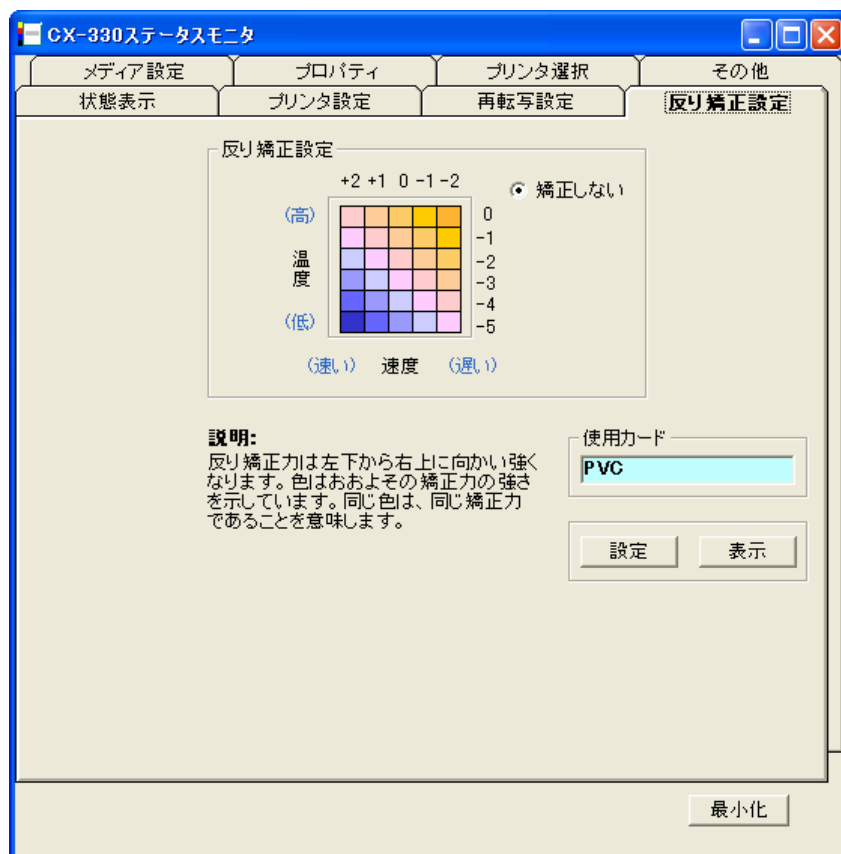
注意

- 1) 設定部の色分けは目安です。カードの種類やプリンタの使用環境で最適値は変化します。実際の環境でお試しの上、設定いただくようお願いいたします。
- 2) 再転写温度を変更した場合、印刷開始までに時間が掛かる場合があります。
- 3) 再転写温度は共通なので、片面の再転写温度を変更すると他面も連動して変化します。
- 4) 適正值の範囲は“使用カード”により異なります。使用カードはメディア設定で変更できます。
- 5) 使用カードがプリンタ毎に異なる場合は、使用カードを設定してください。使用カード毎に設定部の色分けが変わります。

反り矯正条件の変更

〔 反り矯正設定 〕 タブシート

反り矯正設定の画面で、カード反りを矯正するときの条件を設定します。



操作

- 設定ボタン: 選択した値をプリンタに設定します。
- 表示ボタン: プリンタの設定状態を画面に表示します。
- 使用カード: 設定の適正値はご使用のカード種により変化します。カード種は「メディア設定の画面」で変更できます。(本書 15 ページ参照)

反り矯正条件の変更 (つづき)

設定方法

設定部では縦軸に反り矯正温度、横軸に反り矯正速度を表示しています。設定したい矩形(升目)をクリックして値を変更します。選択した値には“*”が表示されます。

右上ほど反り矯正力は強くなりますが、熱によるカードへの影響が大きくなります。反り矯正力がほぼ同等な部分は、設定部の色分けが同色として表されます。

反り矯正をしない場合、“矯正しない”ラジオボタンを選択してください。標準値は“矯正しない”です。

注意

- 1) 設定部の色分けは目安です。カードの種類やプリンタの使用環境で最適値は変化します。実際の環境でお試しの上、設定いただくようお願いいたします。
- 2) 反り矯正は片面印刷の場合に効果があります。反り矯正が高温に設定された状態で両面印刷した場合に、カードが大きく変形する場合があります。両面印刷する場合は、“矯正しない”ラジオボタンを選択してください。
- 3) “矯正しない”ラジオボタンをオフからオンに変更した場合、反り矯正ローラーの温度が下がるまでプリヒートの状態が継続(約 10 分程度)します。故障ではありませんので、そのままレディ状態になるまでお待ちください。
- 4) “矯正しない”ラジオボタンをオフからオンにすると、速度は一番速い設定(+2)になります。
- 5) 反り矯正力が強いほど、反り矯正面は艶消し状になり易くなります。

メディアの状態確認

[メディア設定] タブシート

メディア設定の画面で、インクリボンの状態表示と、カードや再転写フィルムを設定します。

The screenshot shows the 'CX-330ステータスマニタ' (CX-330 Status Monitor) window with the 'メディア設定' (Media Setting) tab selected. The window has four main tabs: '状態表示' (Status Display), 'プリンタ設定' (Printer Setting), '再転写設定' (Rewrite Setting), and '反り矯正設定' (Warp Correction Setting). The 'メディア設定' tab is further divided into 'メディア設定' (Media Setting), 'プロパティ' (Property), 'プリンタ選択' (Printer Selection), and 'その他' (Other). The 'メディア設定' sub-tab contains the following fields:

- インク詳細** (Ink Details):
 - 名称** (Name): YMCK
 - 枚数** (Count): 1000
 - ロット番号** (Lot Number): 4A0000
- 使用カード** (Used Card):
 - 材質** (Material): PVC
 - 厚み** (Thickness): 標準
- 使用フィルム** (Used Film): 標準1000両面

At the bottom right of the main content area are buttons for '設定' (Setting) and '表示' (Display). At the bottom right of the entire window is a '最小化' (Minimize) button.

表示と設定の変更

■ インク詳細

- 名称: 装着されているインクリボンの名称を表示します。インクリボンを正しく認識できない場合、原因を表示します。(本書 17 ページ参照)
- 枚数: 装着されているインクリボンの仕様としての画面数を表示します。現在のインク量ではありません。
- ロット番号: 装着されているインクリボンのロット番号を表示します。

メディアの状態確認 (つづき)

■ 使用カード

- 材質: “PET-G”, “PVC”, “PET(0.25mm)” のいずれかのカード材質を選択します。選択したカードによって再転写の速度や温度設定の適正值表示が変化します。(本書 11、13 ページ参照)
- 厚み: “標準”か“薄型”のいずれかのカード厚みを選択します。0.76mm 厚のカードの場合は「標準」を、0.25mm 厚のカードの場合は「薄型」を選択してください。

注意

- 1) 異なるカード厚のカードを使用する場合、別冊「CX-330 取扱説明書」の“カード厚さ切換え”を参照してください。
- 2) 薄型カードの場合に両面印刷を行うとカードジャムなどの障害が発生します。片面印刷でご使用ください。
- 3) 使用カードの材質がプリンタ毎に異なる場合は、必要に応じて使用カードの材質を設定してください。

- 使用フィルム: 装着されている再転写フィルムの仕様としての画面数を選択します。現在のフィルム量ではありません。

- 設定ボタン: 選択した値をプリンタに設定します。

- 表示ボタン: プリンタの設定状態を画面に表示します。

メディアの状態確認 (つづき)

インクリボンが認識できない場合の表示と対処のしかた

インクリボンが正しく認識できない場合、“インク詳細”の“名称”にインクリボンが認識できない原因を表示します。

The screenshot shows the 'CX-330ステータスモニター' (CX-330 Status Monitor) window. The 'メディア設定' (Media Setting) tab is active. Under the 'インク詳細' (Ink Details) section, the '名称' (Name) field displays '(254:TAGなし)', the '枚数' (Count) field displays '0', and the 'ロット番号' (Lot Number) field is empty. The '使用カード' (Usage Card) section has '材質' (Material) set to 'PVC' and '厚み' (Thickness) set to '標準' (Standard). The '使用フィルム' (Usage Film) section has '標準1000画面' (Standard 1000 Sheets) selected. At the bottom right are buttons for '設定' (Setting), '表示' (Display), and '最小化' (Minimize).

表示	インク認識不良時の原因と対処のしかた
(252:TAG データ不良)	インクリボンに貼付の TAG 記録データが正しくありません。インクリボンを交換してお試しください。
(253:TAG 不良)	インクリボンに貼付の TAG との通信が正しくできません。インクリボンを交換してお試しください。
(254:TAG なし)	インクリボンに貼付の TAG が読めません。インクリボンが正しくセットされていることを確認してください。
(255:R/W 不良)	プリンタの TAG リーダが不良です。プリンタの修理が必要です。

プリンタの構成確認

[プロパティ] タブシート

プロパティの画面で、機器構成やプリンタのファームウェアのバージョンを確認します。

CX-330ステータスマニタ							
状態表示		プリンタ設定		再転写設定		反り矯正設定	
メディア設定		プロパティ		プリンタ選択		その他	
バージョン							
プリンタ	A004	コンフィグ	13				
テーブル	30	磁気ユニット	???				
外部ICユニット	???	ラミネータ1	???				
反転機	???	ラミネータ2	???				
機器構成							
磁気エンコーダ	なし	接触エンコーダ	なし				
非接触エンコーダ	なし	ラミネータ1	なし				
反転機	なし	ラミネータ2	なし				
その他							
プリンタ発行枚数	38	ヘッド印刷数	197				

■ バージョン： プリンタや周辺機器のファームウェアバージョンを表示します。磁気ユニット、外部 IC ユニット、ラミネータなどのオプション機器の場合、接続されていない場合は“???”を表示します。

■ 機器構成： オプション機器の構成を表示します。

注意

接触 IC エンコーダや非接触 IC エンコーダで“なし”以外が表示されている場合、IC エンコーダが装着できる構成になっているという意味で、IC エンコーダが装着されていることではありません。IC エンコーダの取り付けについては、お買い上げ販売店にご相談ください。

■ その他： プリンタの状態を表示します。

- プリンタ発行枚数： プリンタが発行した累積カード発行枚数を表示します。
- ヘッド印刷数： サーマルヘッドの印刷インクパネル数を表示します。例えば、YMCK インクを全て使用し片面印刷した場合、カード 1 枚当たり4図ずつ加算します。

プリンタの選択

〔 プリンタの選択 〕 タブシート

プリンタの選択画面で、プリンタの選択とネットワークの設定をします。

■ プリンタの選択： 複数のプリンタを同一のホストコンピュータに接続している場合、対象のプリンタを切り替えることができます。

- “プリンタの検索”ボタンを押すと、接続中のプリンタを検索し、リストボックス中のプリンタが更新されます。
- リストボックス中のプリンタを選択すると、選択したプリンタの状態に表示が切り替わります。

■ プリンタ名： 選択されたプリンタの名前を設定します。

■ 起動インターフェース： 起動時のインターフェースを設定します。ネットワーク(Ethernet)で接続されている場合は表示のみで、設定の変更はできません。

注意

起動インターフェースの設定に関わらず、USB ケーブルが接続されていれば USB が優先されます。

ネットワーク設定

注意

- 1) 「ネットワーク設定」は、プリンタ本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、設定項目を決定してください。
- 2) 「ネットワーク設定」が正しくないと、他のネットワーク機器に影響を及ぼすことがあります。
- 3) USB 接続のみを使用する場合は、「ネットワーク設定」を設定する必要はありません。
- 4) USB 接続せずに「ネットワーク設定」の内容をプリンタ本体に設定する場合は、プリンタ本体の操作パネルから設定してください。

- ネットワーク設定: ネットワーク(Ethernet)に関する項目を設定します。ネットワークで接続されている場合は表示のみで、設定の変更はできません。
- “IP アドレスを自動的に取得する”を選択すると、IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの値をDHCP サーバーより自動的に取得します。ただし、DHCP サーバーが見つからない場合は、“次の IP アドレスを使う”の設定が使用されます。

メモ

- 1) DHCP サーバーから自動的に取得した IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの値は、表示されません。
- 2) DHCP サーバーの設定により、IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの値は定期的に替わる可能性があります。プリンタドライバなどのアプリケーションソフトで IP アドレスを固定して使用したい場合は、“次の IP アドレスを使う”の設定をお勧めします。

- “次の IP アドレスを使う”を選択すると、次の“IP アドレス”，“サブネットマスク”，“デフォルトゲートウェイ”を用いて、設定します。
- “Session Timeout”は、印刷接続後に通信が無い場合、通信を切断するまでの時間を、設定します。標準は“なし”です。
- “物理アドレス”には プリンタのMACアドレスが表示されます。

セキュリティの設定

注意

- 1) 「セキュリティの設定」は、プリンタ本体を設置する場所のネットワーク管理者の指示に従って、設定項目を決定してください。
- 2) 「セキュリティの設定」が正しくないと、暗号化通信ができません。
- 3) USB 接続のみを使用する場合は、「セキュリティの設定」を設定する必要はありません。USB 接続では、暗号化通信ができません。
- 4) USB 接続せずに「セキュリティの設定」の内容をプリンタ本体に設定することはできません。
- 5) 「セキュリティの設定」で使用するダウンロードファイルは、「インストール・マニュアル」に作成方法が記載されています。ダウンロードファイルは、ネットワーク管理者の指示に従って、管理してください。

■ セキュリティの設定： ネットワーク(Ethernet)の IP Sec に関する項目を設定します。ネットワークで接続されている場合は表示のみで、設定の変更はできません。

- “IP Sec 無効”を選択すると IP Sec を使用しない通信のみ可能になります。標準は“IP Sec 無効”です。
- “IP Sec 有効”を選択すると IP Sec を使用した通信が可能になります。次の“詳細設定”で設定が完了すると、“事前共有キー認証”または“証明書の認証”が有効表示されます。

メモ

- 1) “IP Sec 有効”を選択すると、“詳細設定”ボタンが有効になります。
- 2) “事前共有キー認証”ボタンまたは“証明書の認証”ボタンを押して、設定することはできません。

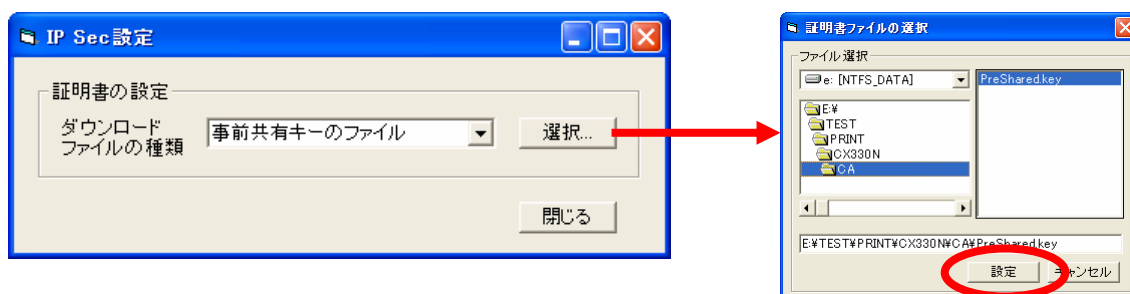
IP Sec による暗号化通信の可否は、以下の表を参考にしてください。

プリンタの設定	PCの IP Sec ポリシー		
	セキュリティが必要	セキュリティを要求	保護なし
“IP Sec 無効”	通信不可	通常の通信	通常の通信
“IP Sec 有効” (認証に失敗した場合)	通信不可	通常の通信	通常の通信
“IP Sec 有効” (認証に成功した場合)	暗号化通信	暗号化通信	通常の通信

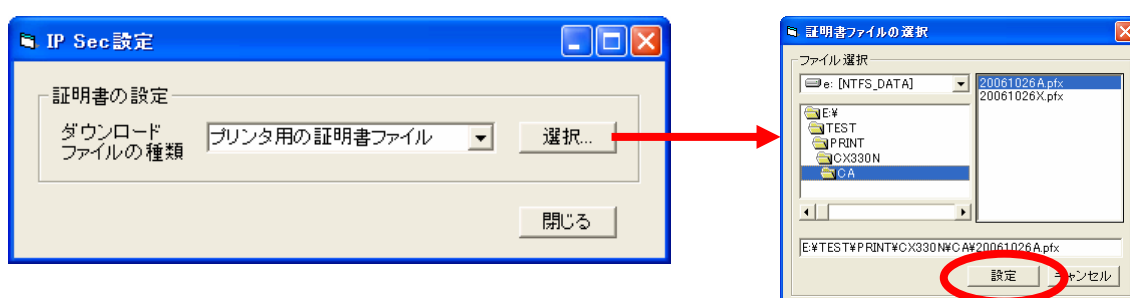
- “詳細設定”ボタンを押すと、“IP Sec 設定”画面表示され、IP Sec の認証に必要なダウンロードファイルをプリンタに送ります。

プリンタの選択 (つづき)

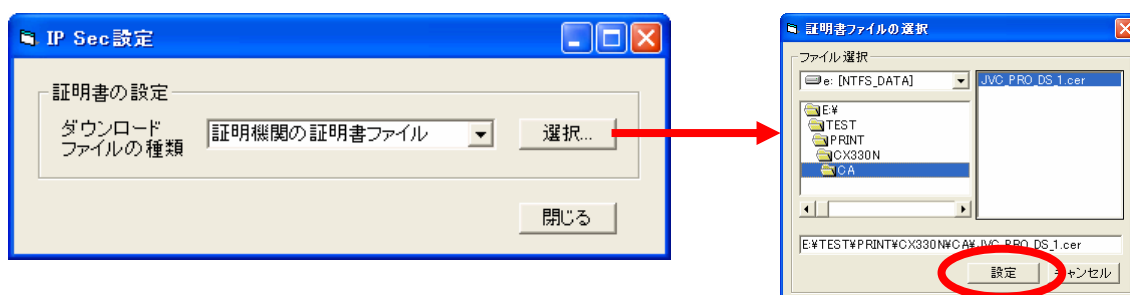
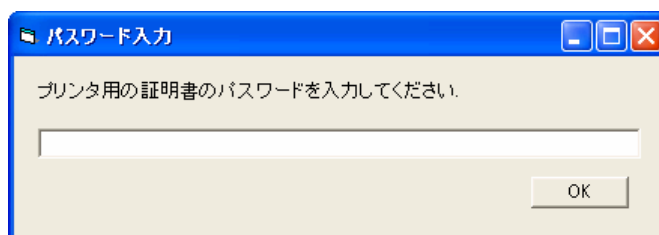
“事前共有キー認証”では、“事前共有キーのファイル”が必要となります。



“証明書の認証”では、“プリンタ用の証明書ファイル”と“認証機関の証明書ファイル”が必要となります。



プリンタ用の証明書ファイルの
パスワードを入力してください。



必要なファイルの設定が終了したら、“IP Sec 設定”画面の“閉じる”ボタンを押して画面を閉じます。この時点までに、プリンタへの IP Sec 設定は完了します。

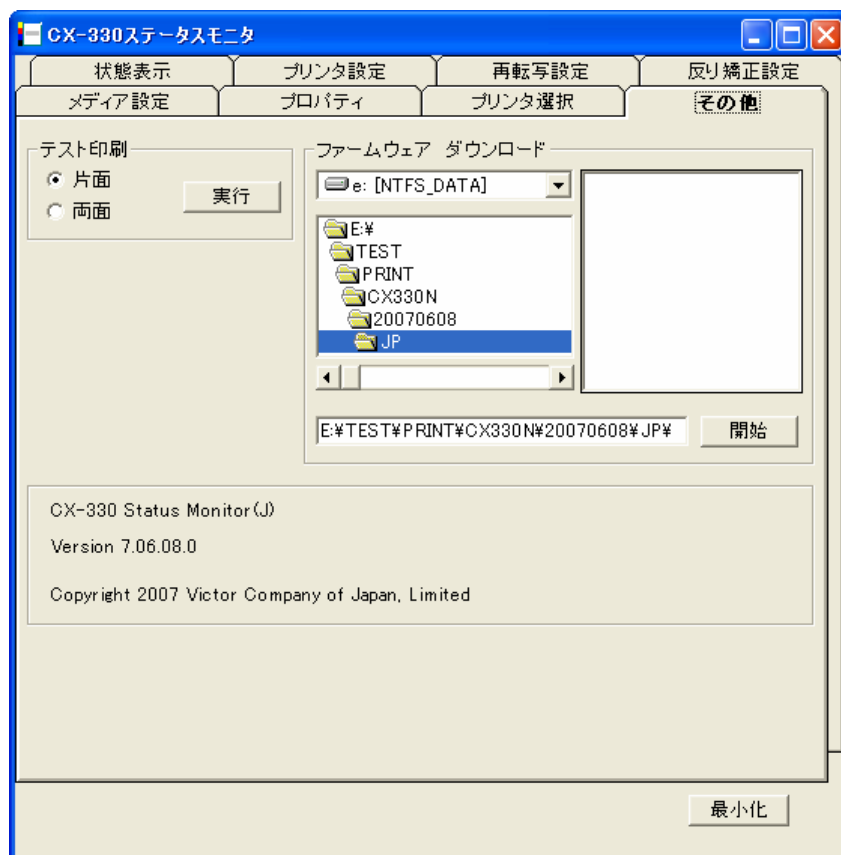
- “時間同期ボタン”を押すと、PCの現在時刻をプリンタに送信します。USB 接続およびネットワーク接続で設定可能です。

- 設定ボタン: 選択した値をプリンタに設定します。
- 表示ボタン: プリンタの設定状態を画面に表示します。

テスト印刷

[その他] タブシート

その他の画面で、プリンタのテスト印刷を行ないます。テスト印刷ではプリンタドライバを使用せず、プリンタの自己診断機能を使用します。プリンタが正しく動作することを確認できます。但し、ネットワークで接続されたプリンタの場合はこの画面の項目は表示されません。

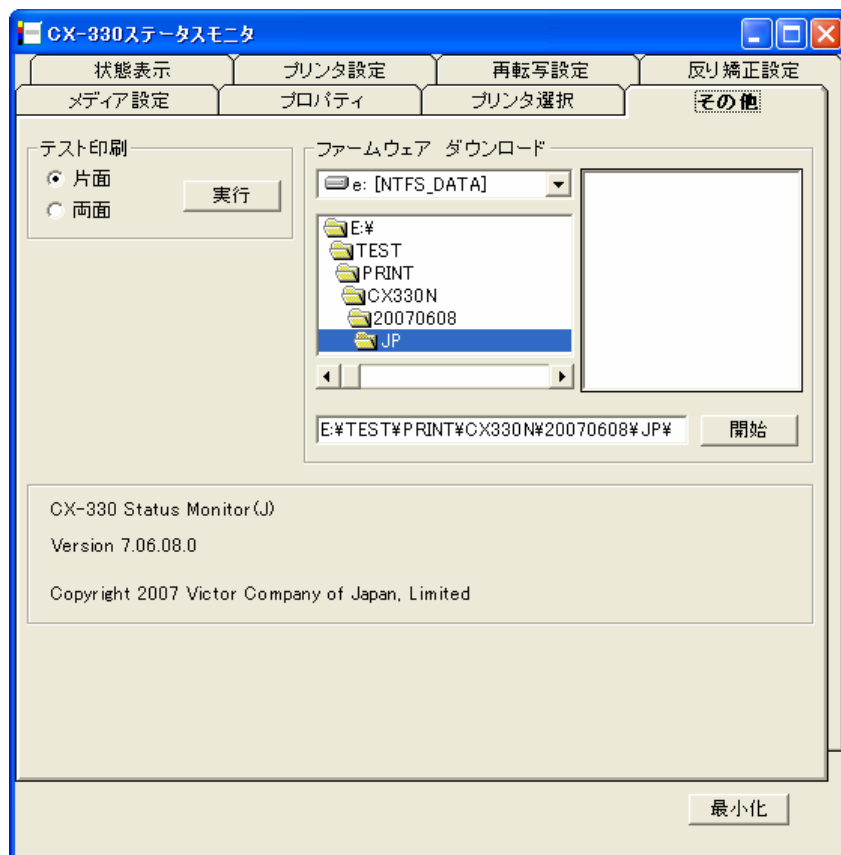


- テスト印刷で“片面”または“両面”を選択し“実行”ボタンを押すと、テスト印刷を開始します。プリンタに内蔵されているテストパターンで、カードを1枚印刷します。

その他の機能

[その他] タブシート

その他の画面には、専門的な知識や技術者用の機能があります。これらについては概要のみを説明します。但し、ネットワークで接続されたプリンタの場合はこの画面の項目は表示されません。



- ファームウェアダウンロード： プリンタのファームウェアを更新します。ファイルを選択し、“開始”ボタンを押します。プリンタのファームウェアの更新には特殊操作が必要です。

注意

プリンタのファームウェアの更新については、サービスマンまたは販売店に依頼してください。ファームウェアの更新に失敗した場合、プリンタが起動できなくなります。

トラブルシューティング

エラーコード一覧と対処のしかた

注意

ステータスマニタ動作中にプリンタの電源を入れた場合、接続が正しくても認識しない場合があります。このような時は、プリンタの電源を入れ直し、ステータスマニタを再起動してください。

サービスコールの処置は、プリンタの電源を切ってからお買い上げ販売店にお問い合わせください。

エラーコード	表示メッセージ	対処方法
	プリンタが接続されていません。	<ul style="list-style-type: none">・ ホストコンピュータとプリンタ間が正しく接続されていることを確認してください。・ プリンタの電源が入っていることを確認してください。
0102D000	カードがありません。カードを補充してください。	カードトレイにカードを補充してください。
0102D100	プリンタドアが開いています。ドアを閉め、RESET と ENTER ボタンを押してプリンタを初期化してください。	プリンタドアを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。
0102D600	インクリボンカセット、あるいは再転写フィルムカセットが付いていません。	インクリボンカセット、あるいは再転写フィルムカセットを取り付けてください。取り付け後、プリンタドアを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。
0102D700	クリーニングユニットが付いていません。	クリーニングユニットを取り付けてください。取り付け後、カードトレイを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。
01039000	給紙ジャムが発生しました。プリンタの電源を切り、カードトレイを外してカードを取り除いてください。	電源を切り、別冊「CX-330 取扱説明書」の“カードつまりの取り出し方<ホッパー部>”を参照し、カードを取り除いてください。
01039100	プリンタ内でカードジャムが発生しました。プリンタの電源を切り、プリンタドアを開けてカードを取り除いてください。	電源を切り、別冊「CX-330 取扱説明書」の“カードつまりの取り出し方<反転部>”を参照し、カードを取り除いてください。
01039200	プリンタ内でカードジャムが発生しました。プリンタの電源を切り、プリンタドアを開けてカードを取り除いてください。	RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。 カードが排紙されない場合、電源を切り、カードを取り除いてください。

トラブルシューティング (つづき)

(表のつづき)

エラーコード	表示メッセージ	対処方法
01039300	プリンタ内でカードジャムが発生しました。プリンタの電源を切り、プリンタドアを開けてカードを取り除いてください。	電源を切り、別冊「CX-330 取扱説明書」の“カードつまりの取り出し方<再転写部>”を参照し、カードを取り除いてください。
01039400	プリンタ内でカードジャムが発生しました。プリンタの電源を切り、プリンタドアを開けてカード排出口のカードを取り除いてください。	電源を切り、プリンタドアを開け、カード排出口のカードを取り除いてください。
0103A000	再転写フィルムが切れています。	別冊「CX-330 取扱説明書」の“インクリボンおよび再転写フィルムが切断された場合”を参照し、再転写フィルムを修復してください。
0103A100	再転写フィルムのマークが見つかりません。再転写フィルムを正しく取り付けてください。	再転写フィルムを正しく取り付けてください。取り付け後、プリンタドアを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。
0103B000	インクリボンが切れています。	別冊「CX-330 取扱説明書」の“インクリボンおよび再転写フィルムが切断された場合”を参照し、インクリボンを修復してください。
0103B100	インクリボンを正しく認識できません。インクリボンを正しく取り付けてください。	インクリボンを正しく取り付けてください。取り付け後、プリンタドアを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。
0103BB00	外部 IC ユニットでカードジャムが発生しました。外部 IC ユニット内のカードを取り除いてください。	RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。 カードが排紙されない場合、電源を切り、カードを取り除いてください。
01044400 0104D800 0104FA00	プリンタでハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104A900	磁気エンコード部が正しく取り付けられていません。プリンタの電源を落とし、正しく取り付けてください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104AB00	磁気エンコード部で機構障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。

トラブルシューティング (つづき)

(表のつづき)

エラーコード	表示メッセージ	対処方法
0104AC00	磁気エンコード部でハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104AF00	磁気エンコード部との通信で障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104B900	外部 IC ユニットが正しく取り付けられていません。プリンタの電源を落とし、正しく取り付けてください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104BA00	外部 IC ユニットの設定が正しくありません。プリンタの電源を落とし、外部 IC ユニットのスイッチを正しく設定してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104BE00	外部 IC ユニットとの通信で障害が発生しました。プリンタの電源を落とし、通信ケーブルを正しく接続してください。	プリンタの電源を切り、外部 IC ユニットとプリンタ間のケーブルの抜き差しをしてください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104BF00	ラミネータとの通信で障害が発生しました。プリンタの電源を落とし、通信ケーブルを正しく接続してください。	プリンタの電源を切り、ラミネータとプリンタ間のケーブルの抜き差しをしてください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104C000	反転装置でハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104C100	ヒータカムでハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F000	再転写ローラーの温度が高すぎます。プリンタの電源を落とし、冷やしてから再開してください。	プリンタの電源を落として、再転写ローラーの温度を冷やした後、プリンタの電源を入れてください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F100	再転写ローラーでハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。

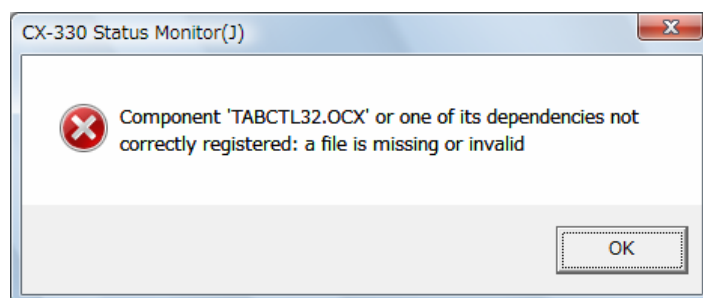
トラブルシューティング (つづき)

(表のつづき)

エラーコード	表示メッセージ	対処方法
0104F200	再転写ローラーサーミスタでハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F300	反り矯正ローラーの温度が高すぎます。プリンタの電源を落とし、冷やしてから再開してください。	プリンタの電源を落として、反り矯正ローラーの温度を冷やした後、プリンタの電源を入れてください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F400	反り矯正ローラーでハードウェア障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F500	反り矯正ローラーサーミスタで障害が発生しました。プリンタの電源を入れ直し、プリンタを初期化してください。	プリンタの電源を入れ直してください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F600	プリンタ内温度が低すぎます。プリンタの電源を落とし、暖まってから再開してください。	プリンタの電源を落として、プリンタ周辺温度が暖まってからプリンタの電源を入れてください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0104F800	サーマルヘッドの温度が高すぎます。プリンタの電源を落とし、冷やしてから再開してください。	プリンタの電源を落として、サーマルヘッドの温度を冷やした後、プリンタの電源を入れてください。 再発する場合、サービスコールしてください。
0105FB00	プリンタへのダウンロードデータが正しくありません。ファイルを確認してください。	ダウンロードしたファイルが正しいか確認してください。
0142A200	再転写フィルムがありません。新しいフィルムと交換してください。	再転写フィルムを交換してください。交換後、プリンタドアを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。
0142B200	インクリボンがありません。新しいインクリボンと交換してください。	インクリボンを交換してください。交換後、プリンタドアを閉め RESET ボタン ENTER ボタンを順番に押し、プリンタを初期化してください。

ステータスマニタのエラー

- Windows® 7 とWindows Vista™でステータスマニタの実行を開始したとき、次のエラーが発生しました。



【原因】 Windows®が認識できないプログラムとして、実行を禁止しました。

【対応】 「管理者として実行...」を選択し管理者権限のあるユーザとして、ステータスマニタを実行してください。
以降、Windows®に認識されたプログラムとなり、このエラーは発生しません。

昇華型再転写プリンタ CX-330 ステータスモニタ 取扱説明書